

中野市児童センター運営委員会 てん末

日時 平成 28 年 2 月 15 日（月）午後 1 時 30 分から

場所 平野児童センター

出席者 全委員出席

事務局 小嶋課長、吉池係長、金井

中野児童センター 吉原所長、平野児童センター 小林所長

中野放課後児童クラブ 古川所長、平野放課後児童クラブ 佐藤所長

#### 1 会長の互選について

事務局から、慣例により、六川主任児童委員を提案。

全会一致により決定。

#### 2 放課後児童クラブの現状と運営について

事務局が説明。

(主な質疑・意見等)

Q 今年度から 6 年生までに対象が拡大されたが、上級生を迎え入れることにより発生したメリットとデメリットを教えてほしい。(委員)

A 上級生がいることにより、異年齢の児童といい交流ができていることがメリットである。低学年の児童と体力差があるため、ドッジボールや鬼ごっこをするとき、危険がないよう、学年ごとに分けて遊ぶようにしている。(事務局) →他のクラブもほぼ同内容の回答。

上級生と下級生が遊ぶときには、支援員が上級生に必ず声掛けをしている。(事務局)

Q 年齢が拡大されたことにより、登録できない児童は出てきているのか。また、確保しなければいけない面積は確保できているのか。(委員)

A 今年度の登録について、年齢が拡大されたことにより、登録ができない児童はいなかった。平成 28 年度もその方向で考えている。また、確保しなければならぬ面積については、平成 31 年度まで経過措置があるため、今後の少子化などの社会情勢を見ながら対応を検討していきたい。(事務局)

Q 子どもが来ない場合など、保護者との連絡体制はどうか。また、保護者会の内容を教えてほしい。(委員)

A 毎月、利用日程を事前に提出してもらおうが、連絡がないまま、変更となることもある。その際は、保護者に確認を行っている。また、保護者会については、おやつ代の決算、実績報告などを行っている。→他クラブも同様。(事務局)

・センターと保護者、学校とセンターの情報交換ができているか、気になる面もある。学校との情報交換は大事と思われるので、今後ともしっかりと行っていきたい。(委員)

#### 4 終了 (午後 2 時 05 分)